

ひとはくの国際交流プロジェクト

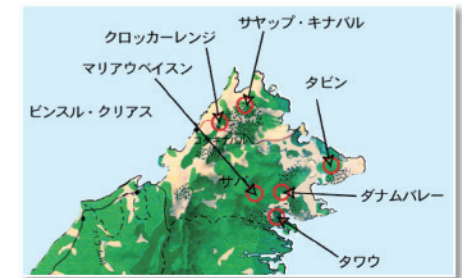
－ ひとはくとフランス アベロン県「マイクロポリス」の国際交流活動報告展開催

当館では、国際的な視点から人と自然の共生に貢献するために、マレーシア国立サバ大学やフランス国アベロン県にある世界最大の昆虫館「マイクロポリス」などと交流協定を締結し、調査研究をはじめ、さまざまな交流活動を展開しています。本プロジェクトでは、その一環として、2016年4月にひとはくとフランス国アベロン県マイクロポリスの交流活動報告展「ファーブルの故郷からのメッセージ」を開催します。

マレーシア国立サバ大学とは、1997年6月に交流協定を締結し「ひとはく・サバ大学共生生物学研究事業」としてボルネオ島での学術調査、研究成果に基づく展示、ボルネオジャングル体験スクール、ボルネオ島の生物多様性保全事業（JICA ボルネオ生物多様性・生態系保全プログラム）への協力など幅広い国際交流活動を続けて来ました。

アベロン県とは、2000年に淡路島で開催された国際園芸・造園博「ジャパンフローラ2000」でアベロン県がファーブル館を出展したことを契機として、同年11月に兵庫県が姉妹・友好協定書を取り交わしました。この協定書の中でファーブルをテーマとする交流を、ひとはくとマイクロポリス館が中心となって進めて行くことが定められました。これを受けて、

2002年にマイクロポリスで開催された国際会議「ファーブルと昆虫学の初期」での講演、2008年に人博で開催された「昆虫記刊行100年記念日仏共同企画ファーブルにまなぶ」展でマイクロポリスの紹介や合同で国際会議を開催するなど、さまざまな活動を両館で展開しています。



サバ大学との合同学術調査地点



サバ大学との交流協
定調印式



ビンスル調査



ボルネオジャングル体験スクール

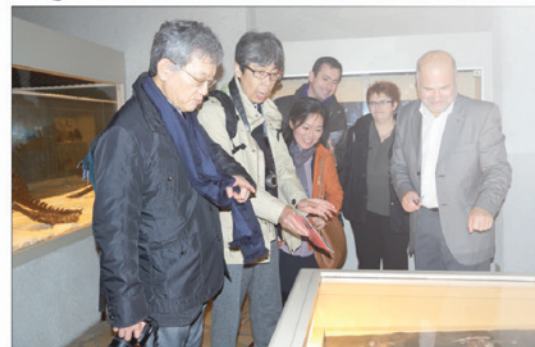


日仏共同企画ファーブルにまなぶ展



Jeudi 5 novembre 2015 - JOURNAL DE MILLAU

Deux scientifiques japonais reçus au Musée de Millau



VISITE Dans le cadre de la po- seur et conservateur, ont notam- notamment le label Unesco», ex-

アベロン県は昆虫記で有名なファーブルの生誕地で、世界最大の昆虫館「マイクロポリス」を有しています。



プロジェクト名 ひとはくの国際交流プロジェクト

代表者：橋本佳明

分担者：高橋晃 山内健生

協力者：フランス国アベロン県 ミクロポリス 兵庫県国際交流課 兵庫県パリ事務所 他